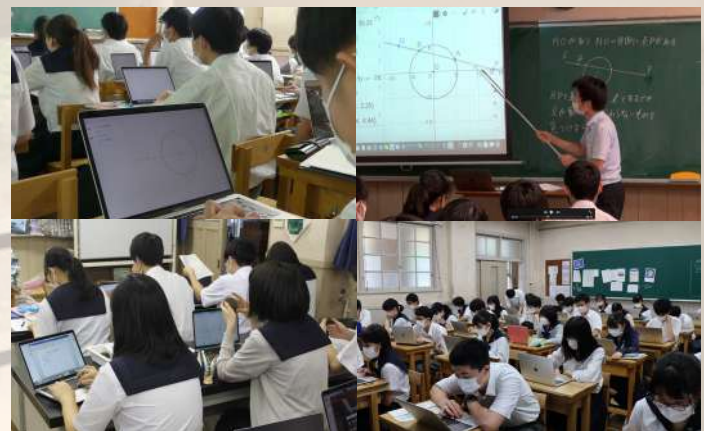


「これから」を見据えて ～1to1の導入～

令和二年度入学生から「1to1」を開始しました。1人1台のMacBook Airをリース契約してもらい、本校の教育活動の中で活用していくというものです。主体的に情報を集め、考え、表現・発信できることのできる生徒の育成を目指しています。



より活動的に
生徒が「表現」する授業が多くなります。自分の考えを打ち込む、表現する様子を動画に撮り共有する、成果物をまとめ表現する、今まで以上に生徒が活動することを中心にした授業展開が可能になります。

より便利に
教師－生徒間、そして生徒間での「共有」が容易になります。ファイルを共有する、意見を共有する、画面を共有する、成果物を共有する、今まで以上に便利に情報の共有が可能になります。

より効果的に
一斉に行う授業の「意味」を考えるきっかけになるでしょう。個別に学ぶ場面、ペアで教え合う場面、グループで話し合う場面、クラスで議論する場面、今まで以上に効果的な学習が可能になります。

キャリア 世界に、未来に目を向ける

本校におけるキャリア教育は、今後の長い人生を見通した“キャリア”を意識したものです。授業も含め、20年後、30年後に責任を持つ教育を目指しています。そこから、今、目指すべき進路が見えて来ます。



【進学実績】

本校生の約半数が国公立大学へ進学しています。令和2年度入試では、東京大学に28名（現役16名）、京都大学に9名（現役5名）、東京工業大学に11名（現役9名）、一橋大学に7名（現役4名）が進学しています。

また、国公立等医学部医学科は29名（現役9名）、私立大を含めると95名が全国の医学部医学科に合格しています。近年では、ハーバード大学、オクスフォード大学などを含め、海外の大学への合格者も多くなっています。

【高大接続】2020年度現在（ただし、今年度は社会情勢の関係で変更になるところもございます）

東京学芸大学との高大連携による教員養成プログラムを実施しています。これは「優れた教員の輩出を目的とする高大連携教育システムを構築する」ことを目的とした連携研究です。高3の夏休みに東京学芸大学で教員志望者を対象としてセミナーを開講しています。

東京工業大学との高大連携教育を実施しています。具体的な内容は、「一日東工大生」など東工大で企画されるプログラムへの参加、東工大の教員による出張講義、「サマーチャレンジ」、特別選抜などです。

京都大学と、大学および高等学校における教育の課題に関して、教育研究の充実・発展に資することを目的として連携しています。進学相談会の開催、京都大学が主催する全国規模の課題研究発表大会への参加、本校卒業生との交流会の開催等を検討しております。

Access



電車

東急東横線
「学芸大学」駅下車 徒歩 15 分
東急田園都市線
「三軒茶屋」駅下車 徒歩 20 分

バス（東急バス）

【渋谷駅】
5 番のりば 渋 32「野沢龍雲寺循環」行き
【目黒駅前】
2 番のりば 黒 06「三軒茶屋駅」行き
【三軒茶屋駅】
（黒 06）「目黒駅前」行き
※いずれも「学芸大学附属高校」下車

2020 年 5 月現在

附高ルネッサンス始動

東京学芸大学附属高等学校には、良き伝統があり社会で活躍する多くの卒業生がおります。しかし、現代の日本と世界の変化は急です。グローバル化、少子高齢化、高校をめぐる、高大接続改革と新たな学習指導要領改訂など多くの課題があります。私たちは、開校時の理想に立ち返り、格調高い本校の教育方針を激化する時代・社会でいかに生かすかを考え、実行してまいります。附高ルネッサンスの始動です。

私たちは、全ての教育活動を通じて、

大学受験だけではなく、大学に入ってから社会に出て役立つ本物の学力の育成と、現代社会で逞しく生き抜く力の育成を目指します。基礎基本をしっかりと身につけたうえで、自ら課題を発見し、工夫して解決し、結果を発表する。授業の中の生徒間の議論、レポート作成、プレゼンテーションを重視しています。

皆さんも私たちとともに、附高ルネッサンスに参加してみませんか。

校長 大野 弘

校章の由来

本校の校章は、創立時の昭和 29 年、初代校長大塚三七雄が泰山木に教育の理想像を見だし、その委嘱を受けて東京学芸大学の美術科教授大坪重周がデザインしたものです。

創立当時、東京学芸大学竹早分校の正面玄関には泰山木の大樹がありました。泰山木は、北アメリカ原産のモクレン科に属する常緑高木で、幹の高さは 20m に達します。花は 6 月ごろ咲き、大きさは径 15cm くらいで白く、芳香を放ちます。本校の校章は、この泰山木の花を図案化したもので、中央に「高」の字が配されています。

本校の教育方針はこの泰山木の花・幹・産地などを念頭において起草されており、PTA・後援会の名称も泰山会となっています。



校内 泰山木の花



篠原 梨菜
東京大学法学部
卒業
TBS アナウンサー

卒業生からのメッセージ

附高の素晴らしさは大きく分けて二つあります。それぞれ高い専門性を持つ先生方のもと、学問の垣根なく多くの分野について学び、広い見識を身につけられるところ、行事や勉強、部活といった様々な活動をやりくりするためのバランス感覚を身につけられるところです。私にとって附高での経験は、学業を中心とした様々な活動に全力投球し、良い意味で欲張りに生きる力の素地となっています。



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

〒 154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5
TEL 03-3421-5151 FAX 03-3421-5152
<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>



清純な気品の高い人間

大樹のように大きく伸びる自主的な人間

世界性の豊かな人間



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

2020

授業 学問の本質を学ぶ

「本物教育」 本校の授業のモットーを表す言葉です。実物に触れる授業，学問の深みを感じる授業を目指しています。また多くの科目で実物に触れる機会として教科行事を実施しています。



講義・演習

基礎・基本を理解し身につけ，さらにじっくり考え，互いに意見を交わし合うことで，自ら問題点を見出し，主体的に解決する力を養います。また，プレゼンテーションや討論などの多様なかたちの授業を通し，表現力や伝達力を身につけます。

実験・観察

観察や実験，調査や探究に取り組みます。3年生の夏には物理・化学・生物の実験講習があり，大学レベルの高度な実験にも挑戦します。日頃から観察や実験は多く，結果をレポートにまとめることを通し，分析力や文章力を培います。

実習・実技

保健体育科での実技のほかにも，家庭科では多数の実習や体験，情報科では学校CM作成など，自らの手や体を動かして実践的・体験的に学びます。芸術科では，音楽・美術・工芸・書道の中から1科目を選択します。創作や表現，鑑賞の活動を通し，感性を高め豊かな情操を養います。



本校の教育課程表（2020年度）◆は学校設定科目 芸術科は選択必修で一つ選択

	総合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年次																																		
2年次																																		
3年次																																		

※総合的な学習の時間は平成31年度入学生から総合的な探究の時間となる。

行事 協働の精神を養う

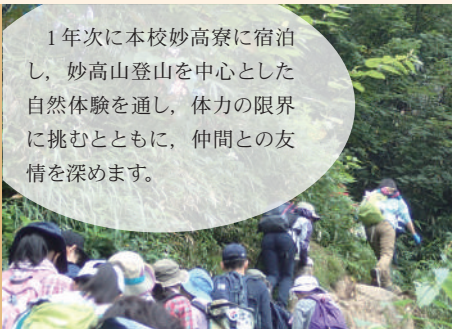
辛夷祭・体育祭をはじめとして，行事満載の高校生活です。学校行事では生徒が中心となり，より魅力的な行事になるように協力して運営しています。

体育祭



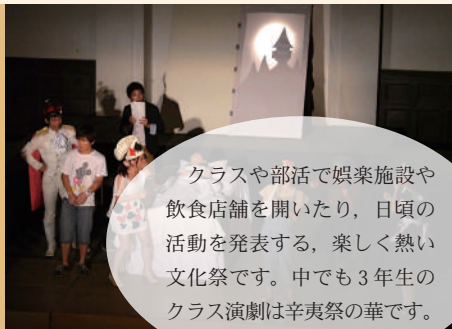
各学年が赤・青・緑・黄の4チームに分かれて様々な種目で競い合います。真剣に跳んで，走って，踊って，さわやかに汗を流します。

林間学校



1年次に本校妙高寮に宿泊し，妙高山登山を中心とした自然体験を通し，体力の限界に挑むとともに，仲間との友情を深めます。

辛夷祭



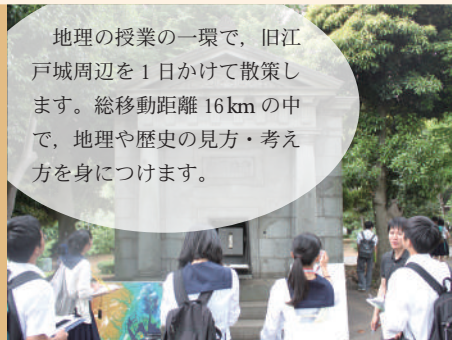
クラスや部活で娯楽施設や飲食店舗を開いたり，日頃の活動を発表する，楽しく熱い文化祭です。中でも3年生のクラス演劇は辛夷祭の華です。

学習旅行



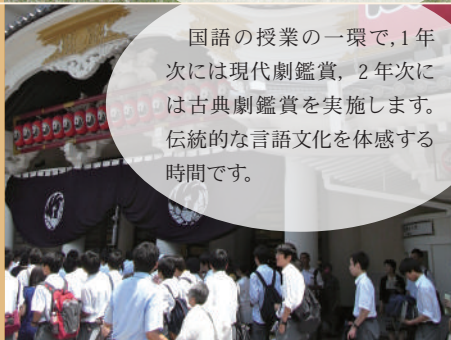
2年次に韓国・タイ・関西の3コースに分かれて宿泊し，各自で設定したテーマを明らかにするためのフィールドワークを行います。

地理実習



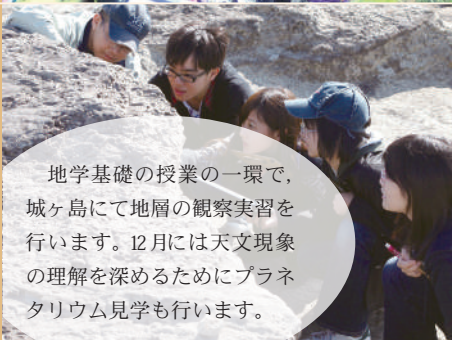
地理の授業の一環で，旧江戸城周辺を1日かけて散策します。総移動距離16kmの中で，地理や歴史の見方・考え方を身につけます。

古典劇鑑賞会



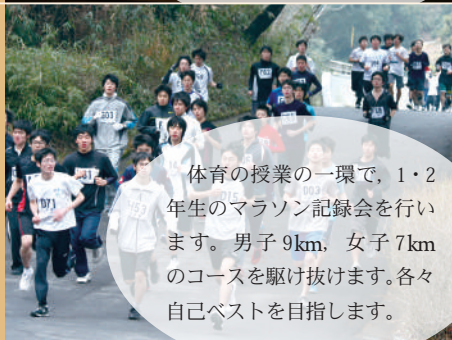
国語の授業の一環で，1年次には現代劇鑑賞，2年次には古典劇鑑賞を実施します。伝統的な言語文化を体感する時間です。

野外実習



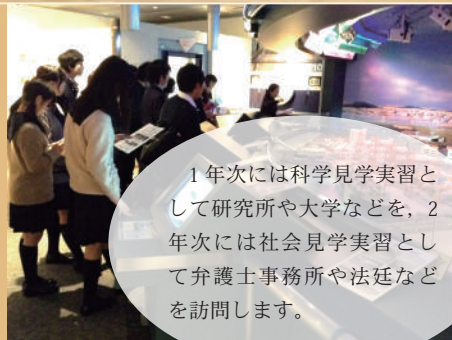
地学基礎の授業の一環で，城ヶ島にて地層の観察実習を行います。12月には天文現象の理解を深めるためにプラネタリウム見学も行います。

マラソン記録会



体育の授業の一環で，1・2年生のマラソン記録会を行います。男子9km，女子7kmのコースを駆け抜けます。各々自己ベストを目指します。

科学見学実習



1年次には科学見学実習として研究所や大学などを，2年次には社会見学実習として弁護士事務所や法廷などを訪問します。



帰国生と学んだ生徒（アメリカからの帰国生）

Q 学校行事などの活動を通して学んだことは何ですか？

毎週行事があると言っても過言ではない程イベント盛り沢山の附属高校。その中で私は教科書の字面だけでは伝わらない物事の奥深さを発見したり，仲間と喜びを共有する素晴らしさを体感したりしました。学校行事では，座学だけでは味わえない五感で物事を捉え，考え，そしてそれらを発信する楽しさを味わうことができたと思います。

SULE 国際的リーダーを育てる

SULEとは，Scientific Universal Logic for Education の略で，本校の提案する総合的な文理融合型の本物思考の教育を指す造語です。SSHやSGHアソシエイト（平成30年度終了）の先進的なカリキュラム開発で得られた知見と，本校の伝統的な「本物教育」の融合を目指しています。

SSH 平成24年度より指定（1期目5年終了） 平成29年度より指定（2期目）



「資質・能力の育成」を強調したカリキュラム開発

SULEの理念に基づき，「資質・能力」ベースのカリキュラム開発に学校全体で取り組んでいます。これは，現在進んでいる高大接続や大学入試改革に対応するものでもあります。先進的な取り組みを発信する公開教育研究大会や授業実践研究会の他，普段の授業も教育関係者に向けて常に公開しており，授業の質を高めるべく日々努めています。

「探究活動」の重視

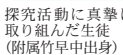
自ら問いを立ててそれを探究する「探究活動」を重視した教育を展開しています。月1回程度，土曜日の午前に探究授業を実施しており，ここで1年生は探究の基礎を学び，2年生は各自の興味関心に沿った探究を進めます。探究授業は全教員によって実施され，外部の大学や研究機関から支援を受けることも可能です。さまざまな外部発表の機会もあります。

「国際交流活動」の活性化

タイ王国のPCSHSCR（プリンセス・チュラポーン・サイエンスハイスクール・チェンライ校）との交流プログラムを実施しています。毎年，十数名の生徒たちが相互に学校を訪問し，自然科学に関する研究発表を行います。これ以外にも，海外からの留学生を招いて英語授業を実施したり，2年時の学習旅行で海外を訪れたり，海外からの学校訪問を積極的に受け入れたりして，国際的に活躍できる人材を育成しています。

Q 探究活動を通して学んだことは何ですか？

私は太陽電池について3年間探究しました。中学校での自由研究の延長でしたが，附高ではより発展的に探究することができました。また探究を通して様々なイベントに参加したのも思い出です。中でもSSHの海外交流としてタイ王国の高校で発表をしたことは強く印象に残っています。普段の授業で学んだ知識を論理によって繋げ，同世代の生徒どうして共有して議論をする，探究活動は考えること・学ぶことの本質を学ぶ授業です。



探究活動に取り組んだ生徒（附属竹早中出身）

SGH-A 平成26年度より指定（平成30年度終了）



部活動 心・技・体を鍛える

本校生徒の9割以上がいずれかの部活に所属しており，部活動が大変盛んです。全国大会や関東大会に出場する部活もあり，限られた時間の中で有意義な部活動を送っています。

体育系

ソフトテニス，卓球，ホッケー，野球，水泳，サッカー，ハンドボール，男子バスケットボール，女子バスケットボール，男子バレーボール，女子バレーボール，陸上競技，男子硬式テニス，女子硬式テニス，柔道，剣道，弓道，山岳，バドミントン，ダンス

文化系

オーケストラ，美術，軽音楽，演劇，モダンジャズ研究，ESS，囲碁，家庭科，書道，かるた，合唱，天文，文藝，パソコン（同），落語研究（同），クイズ研究（同），珠算（同）（同）は同好会

【最近3年間の主な活動成績】

囲碁部

全国大会（第四十三回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会）
個人戦男子の部 予選1勝2敗

演劇部

平成31年度東京都高文連演劇部門山手城南地区大会 奨励賞及び地区賞

書道部

第32回東京都高等学校文化連盟書道展 会長奨励賞

第43回学芸書道全国展 硯心会理事長賞，硯心会奨励賞

かるた部

第二十六回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会 優勝 東京都Aチーム
（チームの一員として出場）

文藝部

第四十三回全国高等学校総合文化祭 文芸部門の詩部門 東京都代表

ホッケー部（女子チーム）

平成三十一年度 東京都高等学校総合体育大会ホッケー競技会兼第四十八回関東高等学校ホッケー大会東京都予選会 優勝

令和元年度 第四十八回関東高等学校ホッケー大会・全国高等学校総合体育大会関東地区予選会 出場

水泳部

第七十回関東高等学校選手権

女子100m バタフライ 第三位 女子200m 個人メドレー 第一位

第七回世界ジュニア選手権 女子200m 個人メドレー 第四位

第七十四回国民体育大会

少年A女子50m 自由形 第七位 少年A女子100m 自由形 第七位

第九十五回日本選手権水泳競技大会

女子50m 自由形 第八位

JAPAN Open 2019（50m） 女子200m 個人メドレー 第一位



様々な活動に積極的に取り組んだ生徒（神奈川県公立中出身）

Q 附高での生活を教えてください。

今年度は新型コロナウイルスのために行事の準備等がなく比較的余裕を持った生活を送っています。例年ならば，休み時間という概念はなく，行事の準備や大量の課題をこなしているうちに次の授業が始まることもしばしば。忙しさを言い訳にせず学業と部活や行事を両立させている仲間の姿を見ると，自分も頑張ろうという気持ちになります。附高で過ごす日々は，毎日が刺激的で非常に充実しています。



ダンス部との両立に励んだ生徒（附属竹早中出身）

Q 勉強と部活の両立で苦労したこと，心がけていることは何ですか？

勉強も部活も，目の前のことに誠心誠意取り組み，密度の高い時間を過ごすことを心がけています。そして大切なことは，両立するという強い意志を忘れないことです。また，友だちの頑張りを見たり聞いたりすることは良い刺激になります。附高には，高い次元で勉強と部活を両立している人がたくさんいます。彼らを大いに尊敬する一方で，私も負けないぞ！と秘かにライバル心に火がつき，自分の力が120%引き出されている気がします。



日常の学校生活に真摯に取り組んだ生徒（附属小金井中出身）

Q 附高での授業を通して学んだことは何ですか？

幅広い教養と科学的な考え方に裏打ちされた，日常での課題発見・解決の力。これが，私が附高の学習活動を通じて得たものです。本校では，文系・理系という分類にとらわれず様々な科目を学び，さらに，授業では，時に実験や調査も伴いながら，知識を得るにあたり常に正統的なアプローチにこだわる「本物教育」を展開します。こうして得られた「生きた知」は，日常の様々な物事を見る視点を変えてくれるのです。



日常の学校生活に真摯に取り組んだ生徒（附属世田谷中出身）

Q 附高での授業を通して学んだことは何ですか？

基礎知識の習得に加え，論理的思考力，表現力，総合力を培うことができる点が附高の授業の魅力です。実験・実習が多くレポートを書くのは大変ですが，様々な事象に実際に観察することで，曖昧にしか捉えられていなかった本質を，筋道立てて真に理解するところまで落とし込むことができます。自分の興味・関心を仲間と共有し意見交換することを通じて，新たな知見を得る喜び，お互いを高め合う楽しさを学びました。